

特別リサーチ

データ面から見た

工学部

志願者減の現実

この10年間で工学系学部志願者減は4割以上に達しており、「技術立国・日本」を支える優秀な技術者育成の危機が叫ばれている。文部科学省から発行されている学校基本調査の数値から工学系学部の志願者・入学者の推移を追った。●編集部

工学部志願者減に 対する大学の危機感

大学の理工系学部の志願者が減り続けているという声が最近よく聞かれる。例えば文部科学省が発表した学校基本調査によると、工学部志願者は95年に57万4000人であったのが、05年には33万2000人にまで減少しているという。4割以上の減である。

もちろん、これは国公立大・私立大すべて合わせた数字だから、地域や大学のレベルによってかなりの開きはあるだろう。しかし、昨年6月に開かれた国立大学協会（国大協）の総会でも、国立大学の学長から次のような意見が相次いでいるのだ。

「こんな状態が続けば、大学は優秀な学生が選べなくなる」

「大学の理工系教育が成り立たなくなってきた」

「文科省は、理数教科を重点指導する『スーパー・サイエンス・ハイスクール』の指定を今の3倍にしてほしい」

「中学・高校の理科教育を改善すべきだ」

「工学部で取得できる資格をつ

くれないか」

「学生の質を維持するには定員削減もやむをえない」

事態はそれほどまでに深刻になってきているのか。新聞紙上で報じられている記事からもいくつか拾ってみよう。

《子供に理科や工学に興味を持つてもらおうと、群馬大工学部（桐生市天神町）は今年度中にも、小中学生を会員とし、同学部教授らが指導する「工学クラブ（仮称）」を設立する。全国的に理数系科目の不人気が広がる中、意欲のある児童・生徒が早期に応用的な理科教育を受けられる環境を整えることで、理数系を身近に感じてもらおうとともに、工学部の志願者増を狙う。将来的には、高校生にまで対象を広げることや、同学部教授らが各学校に向いて理科教育を行うことも検討するという。》

（読売新聞06年11月30日）

《工学部の「不人気」に対して、関西大は工学部の募集を停止し、「システム理工」「環境都市工」「化学生命工」の3学部に再編する。土戸哲明工学部長は「ただの工学部というだけでは、何を学ぶのか分かりにくかった。中高校生

●特別リサーチ

は理系に興味はあるが、志願者に結びつかないのはそんな側面もあったのでは」という。(毎日新聞06年10月25日)

《本気でやります、経費を出してください》。今年五月、山梨大学の貫井英明学長の部屋を訪ねた工学部長が懇願した。工学部志願者が前年比四割近く減った今春入試。倍率は前年の二・五倍から一・七倍に下がった。入試後、学内で対策を話し合った末、失地回復に乗り出すことを決める。学長の裁量で配分できる経費から八百万円を出し、工学部の予算と合わせ二千万円を用意。七月からラジオの深夜放送で受験生向けの広報番組を始めた。秋には県内の女子高生を招いて合宿を開催して、一泊二日で工学部の女性教授が研究の魅力を語る。貫井学長は「女子学生を増やし、工学部の3K(きつい・汚い・危険)イメージを変えたい」と話す。(日本経済新聞06年8月17日)

験の成績だけで受けられるように変更、受験生が前の年の四倍に激増した。松岡敬工学部長は「面接をなくせば、ふさわしくない人物が受かる恐れはある」としながらも、「全国から受験生が集まる」効果を選択した。

二次試験で英語をなくした静岡大の天岸祥光学長は「倍率維持のためにはやめざるを得ない」と胸の内を明かす(同前)

《北海道工学部は広報紙「K UON(くおん)」(B4判4ページ)を創刊。北大初の受験生向け広報紙で、公募で選んだ現役の学部生や院生計4人が編集し、工学部で学ぶ面白さを紹介している。全国的に工学部の志願者数が減少する中、ハートをつかめるか。編集長の下川部雅英助教授は「受験生に近い現役学生の目線で編集した」と話す。1万部発行。年3回発行し、全国の高校や高等専門学校572校に送る。(毎日新聞06年7月11日)

データ面から見た工学部志願者の推移

このあたりで工学部を中心とした理工系志願者の減少状況をデータ面から追ってみよう。

図表①は文部科学省の学校基本調査によって、1995年(以下、95年と表記)から2005(以下、05年)年までの工学部志願者数の推移を国立・公立・私立別に示したものである。表中で、「工学系学部」となっているのは、基礎工学部、システム工学部、電気通信工学部などの工学系学部を加えた数字である。

多少の波はあるものの、志願者がほぼ一貫して減少しているのがはっきりわかる。国立大の工学部は95年に約11万2千人だった志願者が05年に約9万1千人に減少しており、公立大は約1万8千人が約1万人にまで落ち込んでいる。私立大工学部は95年の約44万3千人が05年は約23万人だから、ほぼ半減である。

工学系学部トータルでも国立大が約12万7千人(95年)↓約10万3千人(05年)、公立大が約2万人↓約1万5千5百人、私立大が約47

万人↓約28万人と推移している。図②の入学数で国立大は、それほど大きな落ち込みになっていない。減少した分は大学院重点化などで、学部定員が減ったと考えやすい。しかし、志願者が前述のように大幅に減っている上に、教育内容のウエイトが大学院に移行しているのだから、学生の質がかなり低下しているのは否定できないところだろう。

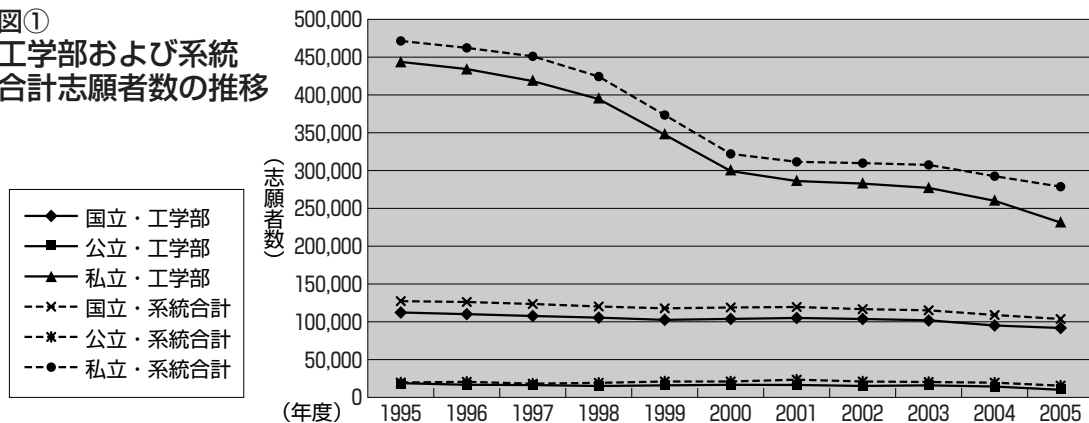
私立大になると、工学部だけで約5万7千人(95年)↓約2万9千人(05年)、工学系学部トータルでも約6万1千人↓約4万9千人でこれはやはり相当のダウンになっている。入学者段階でこれだけ減っているのだから、事態はいっそう危機的である。

ところで冒頭で述べた昨年6月の国大協総会において、全国の国立大入試で、工学部系の志願者数が02年度から06年度にかけて大きく減少している事実が岐阜大学の調査により発表された。この調査結果については、本誌の次号で取材インタビューを予定しているの

表① 工学系学部別志願者数の推移

国立	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
工学系学部合計	126,923	125,830	123,224	120,420	117,639	118,586	119,996	116,895	115,388	108,836	103,176
工学部	111,955	109,666	107,206	105,323	102,478	103,178	105,009	102,727	101,542	94,835	91,369
基礎工学部	1,617	1,740	1,454	1,437	1,174	1,733	1,556	2,113	1,864	1,901	1,508
工芸学部	3,091	2,441	2,622	2,739	2,580	2,399	2,558	2,958	2,364	2,300	2,061
芸術工学部	857	786	855	1,127	960	783	796	1,018	1,060	830	699
電気通信工学部	4,604	5,526	6,155	5,538	5,129	5,966	5,709	3,815	4,187	4,235	3,690
情報工学部	1,299	1,411	1,382	1,415	1,439	1,574	1,756	1,402	1,461	1,381	1,161
システム工学部	-	888	1,120	937	1,120	1,258	1,282	1,198	1,199	1,354	1,162
鉱山学部	3,500	3,372	2,430	-	-	-	-	-	-	-	-
工学資源学部	-	-	-	1,904	2,759	1,695	1,330	1,664	1,711	2,000	1,526
公立	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
工学系学部合計	19,646	20,239	18,042	18,547	20,621	20,510	23,106	20,025	20,358	18,931	15,526
工学部	18,288	16,427	16,102	14,832	15,402	15,929	16,020	15,202	15,259	14,393	10,282
芸術工学部	-	1,894	378	285	358	305	312	371	327	292	287
情報工学部	1,358	1,918	1,562	1,380	1,484	1,607	1,207	1,320	1,440	1,139	1,099
ソフトウェア情報学部	-	-	-	2,050	1,402	1,136	1,060	1,037	865	859	731
システム科学技術学部	-	-	-	-	1,975	1,533	1,186	1,048	1,323	1,042	784
国際環境工学部	-	-	-	-	-	-	3,321	1,047	1,144	1,206	1,079
システムデザイン学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	940
デザイン学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	324
私立	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
工学系学部合計	470,872	462,842	451,630	424,163	373,929	321,934	311,531	309,535	308,244	292,296	277,950
工学部	443,293	433,973	418,767	394,968	346,923	299,478	285,410	282,367	276,395	260,306	230,741
基礎工学部	3,357	3,770	3,984	3,389	3,508	3,409	3,361	3,508	3,619	3,174	3,448
生産工学部	11,927	10,548	10,771	8,866	8,676	7,181	6,660	7,000	7,413	7,149	6,458
芸術工学部	2,754	2,724	2,897	2,626	1,851	1,475	1,137	1,101	915	699	102
情報工学部	2,127	3,252	5,249	5,137	4,295	2,322	2,337	1,848	1,958	1,692	1,535
医用工学部	547	480	566	801	633	494	330	652	704	621	894
システム工学部	2,976	3,143	5,110	3,614	3,020	4,119	4,203	3,563	3,946	2,799	3,446
開発工学部	2,022	2,554	2,055	1,762	2,152	1,364	1,116	1,036	907	920	1,336
デザイン工学部	999	1,142	1,190	1,250	1,293	995	973	1,090	1,061	912	936
産業科学技術学部	870	1,256	1,041	711	544	397	299	337	710	222	172
ソフトウェア情報学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	132
光科学部	-	-	-	1,039	638	358	538	495	594	433	437
科学技術学部	-	-	-	-	396	342	332	263	266	212	412
総合情報学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,969
技能工芸学部	-	-	-	-	-	-	581	441	434	454	557
情報環境学部	-	-	-	-	-	-	1,021	1,704	1,299	1,288	1,131
電子情報学部	-	-	-	-	-	-	3,233	3,730	4,905	3,942	3,120
社会環境(科)学部	-	-	-	-	-	-	-	400	-	-	317
コンピュータサイエンス学部	-	-	-	-	-	-	-	-	3,118	3,996	2,834
生命システム工学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	614	553
医療工学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	235	202
産業理工学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,074	2,000
医療福祉工学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	454	586
情報通信工学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,891
生物生命学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	839
デザイン学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,902

図① 工学部および系統合計志願者数の推移

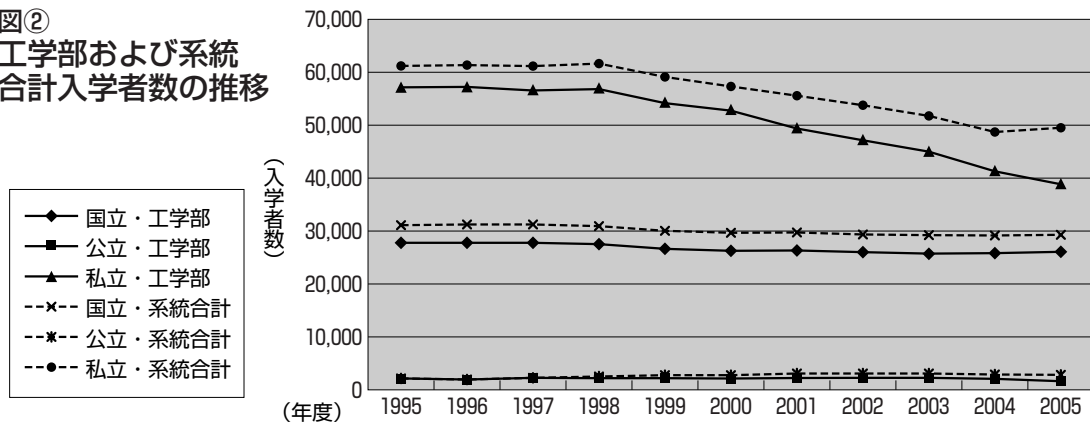


●特別リサーチ

表② 工学系学部別入学者数の推移

国立	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
工学系学部合計	31,060	31,172	31,322	30,869	29,984	29,573	29,634	29,377	29,110	29,084	29,318
工学部	27,789	27,725	27,765	27,449	26,581	26,229	26,291	26,029	25,753	25,771	25,991
基礎工学部	485	493	491	467	450	446	458	457	449	450	448
工芸学部	594	593	580	524	529	519	519	523	518	502	517
芸術工学部	205	205	217	217	216	206	214	210	210	214	218
電気通信工学部	1,019	1,016	1,034	961	944	917	927	939	945	929	920
情報工学部	462	452	433	441	444	450	444	429	425	425	434
システム工学部	-	193	318	306	313	310	305	312	315	314	314
鉱山学部	506	495	484	-	-	-	-	-	-	-	-
工学資源学部	-	-	-	504	507	496	476	478	495	479	476
公立	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
工学系学部合計	2,147	2,083	2,443	2,544	2,833	2,801	3,142	3,096	3,092	2,961	2,837
工学部	2,044	1,909	2,269	2,204	2,221	2,216	2,274	2,243	2,237	2,126	1,658
芸術工学部	-	62	65	62	60	62	60	66	66	63	84
情報工学部	103	112	109	103	128	104	140	109	119	112	116
ソフトウェア情報学部	-	-	-	175	169	177	183	170	164	160	163
システム科学技術学部	-	-	-	-	255	242	243	242	241	245	239
国際環境工学部	-	-	-	-	-	-	242	266	265	255	269
システムデザイン学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	225
デザイン学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83
私立	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
工学系学部合計	61,026	61,283	61,003	61,463	59,005	57,142	55,457	53,702	51,692	48,695	49,377
工学部	56,990	57,206	56,462	56,835	54,063	52,627	49,428	47,097	44,903	41,324	38,876
基礎工学部	513	479	522	451	465	450	448	482	505	507	462
生産工学部	1,507	1,588	1,599	1,453	1,582	1,521	1,456	1,580	1,530	1,577	1,537
芸術工学部	519	530	507	507	503	477	430	453	461	377	71
情報工学部	232	215	669	633	741	386	380	400	446	430	396
医用工学部	136	157	157	148	156	159	164	91	92	83	184
システム工学部	226	229	217	240	219	371	271	564	518	522	509
開発工学部	448	409	404	470	395	390	406	334	291	288	261
デザイン工学部	246	258	270	252	254	269	295	302	305	291	289
産業科学技術学部	209	212	196	201	168	148	125	155	226	122	94
ソフトウェア情報学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	52
光科学部	-	-	-	273	277	168	235	253	270	223	238
科学技術学部	-	-	-	-	182	176	167	156	152	153	229
総合情報学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,888
技能工芸学部	-	-	-	-	-	-	355	335	346	340	379
情報環境学部	-	-	-	-	-	-	211	208	217	218	198
電子情報学部	-	-	-	-	-	-	1,086	1,045	990	869	791
社会環境(科)学部	-	-	-	-	-	-	-	247	-	-	203
コンピュータサイエンス学部	-	-	-	-	-	-	-	-	440	411	444
生命システム工学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	176	138
医療工学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	125	115
産業理工学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	512	517
医療福祉工学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	95	156
情報通信工学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	479
生物生命学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	221
デザイン学部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	641

図② 工学部および系統合計入学者数の推移



ておこう。

《全国の国立大人試で、工学部系の志願者数が2002年度から06年度にかけて大幅に減少、志願倍率が2倍を切る大学が増えるなど深刻な「工学部離れ」が進んでいることが、岐阜大の調査で分かった。

調査した同大の黒木登志夫学長は「社会が物作りの担い手を多くは必要としなくなってきたことや、中高生の理数離れなどが背景」と分析。大学関係者は「将来の研究開発力低下につながりかねず、『技術立国』も難しくなる」と危機感を強めている。(北海道新聞06年6月24日)

《岐阜大は、各大学の工学部、システム工学部などを「工学系学部」と分類。全国87の国立大のうち58大学の志願状況を調査した。2002年度と06年度に実施された入試(前期日程)を比較すると、計約2万人の募集に対する志願者は約6万4000人から約5万3000人に約17%減少。平均倍率は3.3倍から2.7倍になった。この間の18歳人口は約9%の減少で、少子化を上回る勢いで人気が低下が進んでいる。

同期間の倍率を比べても「1.9倍以下」の大学(学部)数は、2から最も低い岩手大(1.3倍)をはじめ、新潟大、富山大、信州大、長崎大、熊本大、宮崎大の7に、「2.2倍以下」は8から20に増えている。(河北新報06年6月25日)

さらに岐阜大の黒木学長は「初歩的な物理や数学が分からない学生でも入学できるようにすれば、授業レベルも低下する。2倍を切るような状況は危機的と言わざるをえない」と述べて、大学が募集人員枠にとらわれず能力で学生を選べるような入試改革を断行する時期に来ていることを力説したという。冒頭に掲げた、国大協総会における国立大学長の発言は、この岐阜大の調査結果を受けて述べられたものである。

首都圏の主要私大でも理工系は退潮

国立大工学部の状況を中心に見てきたが、私立大の理工系になると国立大よりはるかに深刻なことは、これまで見てきたデータで明らかだろう。ただし、私立の場合には地方と大都市圏の格差が考えら

れる。

そこで首都圏主要私大の理工系学部(理工学部と工学部)の志願者数を01年と06年の比較で調べてみた(図③)。さすがに、私大の全国トータルの減少率と比べれば落ち込みは激しくないが、それでも減少している事実には変わりない。首都圏の私大の場合、一般入試のほかにセンター試験利用を導入している大学が多く、文系学部はそれによって志願者増になっていくケースもかなりあるのだ。厳密にはその要素も加味して分析する必要はあるが、ここではとりあえず、センター利用の志願者も加えた数を示すことにした。このセンター利用を除いた純粹の一般志願者数になると、落ち込みはもっと大きくなるのは確かである。ここに上げた主要大学のなかでは中央大理工のマイナスの大きさが目につく。

もうひとつ、理系私立大では最も難関の東京理科大の理・工・理工の志願者推移を挙げて見る(図④)。こちらのデータは一般とセンター利用の内訳も示した。理工学部と理工学部は06年で前年よりやや持ち直しているが、流れとして

は退潮傾向にあることは否めない。工学部は一貫してマイナスになっている。また、この資料を見ると、センター試験利用の志願者の占める数はいかに大きいかも分かるだろう。

社会で報われない理工系学部の出身者

このような工学部を中心とした理工系の志願者減は、不人気の要因については既に様々な指摘がなされている。

例えば本誌12月号の「視点」で毎日新聞の元村有希子氏は次のように述べる。

《マクロ的な視点で見れば、理系よりも文系を選んだ人のほうが昇進が早かったり、生涯賃金が多かったりするの事実です。日本は理系がワリを食う国だと思えます。》(「迷ったら理系、という選択もある」)

さらに、《家族のバイアスも大きな要因です。今の親は子どもに技術者になることを求めないですね。最近、ソニーのリチウム電池発火事故や三菱自動車のリコール問題など、日本のメーカーが絶対に失敗

●特別リサーチ

してはいけないところで失敗して
いますよね。なんとなく製造業全
体の将来、見通しが悪い。アジア
諸国の製造業も驚異的な勢いで伸
びてきている。そういったことを
マスコミが伝えると、親は敏感に
反応して子どもに理学部や工学部
ではなく、医学部を勧めるわけだ
です。高校の進路指導でもそうでは
ありませんか。社会全体で理系の
よさを見直して、イメージを変え
る必要がありますね。》(同前)

元村氏は近年、理系出身者がこ
れまで文系と思われてきたような
職場で活躍・昇進するケースも出
てきたが、「ただ、こういう職場
は全体から見ればごく一部。もつ
と文系の職場に理系の人が抜擢さ
れるようなフレキシブルな仕組み
が社会全体で必要です」と言う。

一方で工学部のイメージがつか
みにくいという声もよく聞かれ
る。同じ理系でも、医療系学部は
資格に直結しているので分かりや
すい。しかし、工学部はたとえば
建築学科は建築の仕事するのだな
と分かりやすいが(実際に工学部
の中でも人気がある)、機械工学
科となるといまひとつピンと来な
くなる。せいぜい、機械や自動車

関係の仕事に関係があるの
だろうというくらいイメージ
にとどまる。電子工学
科、システム工学科あたり
にとするとさらに漠然とし
てくる。

また、その時々の方流に
左右されやすい面もある。
今はロボット工学などに人
気があるが、これもいつど
うなるか分からない。化学
工学系が公害との関係で一
気に人気を落としてしまっ
た経緯もある。

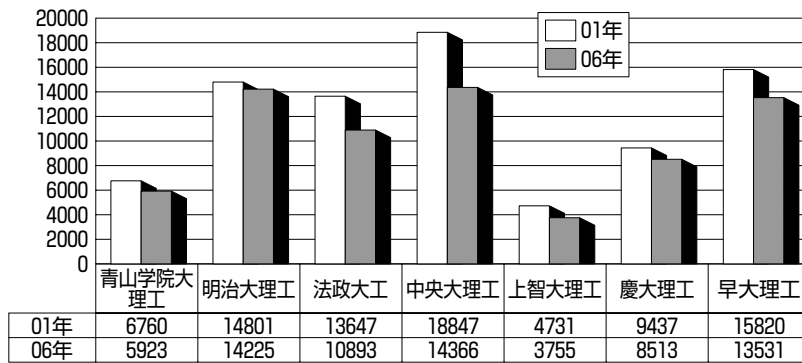
もちろん、学問内容はそ
んなに単純に理解できるも
のでないが、有効性をすぐ
に求める今の若者に工学部
がなかなか受け入れられに
くいのも事実である。

こうした状況を改善して
いくために、各大学の様々
な改革が求められ、また実際に既
に動き出して効果を発揮している
試みもある。しかし、本記事は工
学部志願者の減少の推移をデータ
で確認することが狙いなので、こ
れからの方向性については別の機
会に検討することにした。

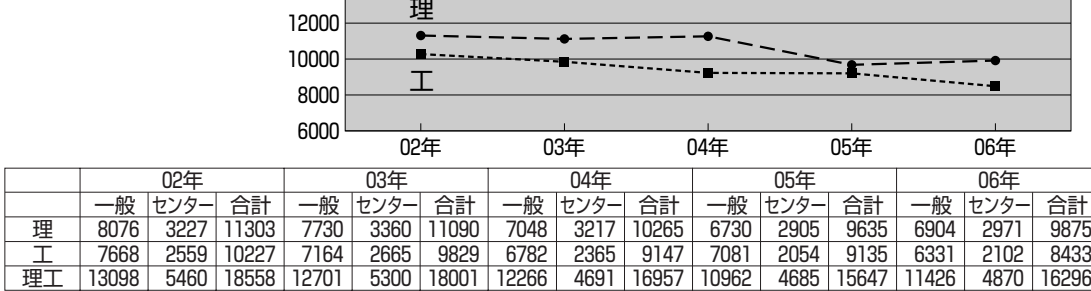
最後に国立大学工学系学部の過

去3年間の「追加合格者・入
学辞退者」のデータを掲げ
ておく(表⑤)。これらの数
字を見ると、各大学ともか
なり「入学辞退者」の出て
いることが分かる。ここで
もまた工学部不人気が裏づ
けられていると言えよう。

図③ 首都圏主要大学理工系学部志願者推移(01年→06年)



図④ 東京理科大志願者推移(02年～06年)



表⑤ 国立大学工学系学部 追加合格者・入学辞退者数

2006年度	大 学	学部	募集人員	志願者	受験者	最終合格者	追加合格(内数)	倍率(倍)	入学辞退者	入学者	辞退率(%)
		北海道大学	工	659	2585	1978	724	-	2.7	25	699
	室蘭工業大学	工	516	1312	1280	634	1	2.0	101	533	15.9
	北見工業大学	工	347	1812	911	597	5	1.5	254	343	42.5
	岩手大学	工	319	618	412	328	-	1.3	21	307	6.4
	東北大学	工	635	2416	1833	721	-	2.5	39	682	5.4
	秋田大学	工	333	1081	554	365	-	1.5	43	322	11.8
	山形大学	工A	432	1432	1284	600	4	2.1	151	449	25.2
	茨城大学	工A	411	1870	1194	549	-	2.2	81	468	14.8
	筑波大学	第三学群	358	1333	1003	450	-	2.2	30	420	6.7
	宇都宮大学	工	317	889	712	407	-	1.7	47	360	11.5
	群馬大学	工(昼)	391	1368	949	500	2	1.9	76	424	15.2
	埼玉大学	工	410	1662	1074	478	6	2.2	45	433	9.4
	千葉大学	工A	575	2241	1850	642	6	2.9	58	584	9.0
	東京農工大学	工	455	2472	1851	556	-	3.3	72	484	12.9
	東京工業大学	工	693	4091	3241	745	-	4.4	10	735	1.3
	電気通信大学(昼間コースのみ)	電気通信	585	2429	1717	703	-	2.4	82	621	11.7
	横浜国立大学	工一部	551	2736	1803	682	-	2.6	99	583	14.5
	新潟大学	工	271	698	479	304	3	1.6	31	273	10.2
	長岡技術科学大学(*推薦含む)	工	*80	121	113	53	-	2.1	1	52	1.9
	富山大学	工	321	1093	1087	436	-	2.5	82	354	18.8
	金沢大学(*一部帰国子女含む)	工	*384	1202	943	437	1	2.2	20	417	4.6
	福井大学	工	423	2193	1243	523	-	2.4	64	459	12.2
	山梨大学	工	281	818	599	346	-	1.7	45	301	13.0
	信州大学(*入学定員)	工	*470	1384	1080	532	2	2.0	43	489	8.1
	岐阜大学	工(昼)	332	1028	999	388	-	2.6	47	341	12.1
	静岡大学(*合格者に含む)	工	410	1553	976	486	*	2.0	52	434	10.7
	名古屋大学	工	666	2470	1890	740	-	2.6	47	693	6.4
	名古屋工業大学(*注①参照)	工	817	3023	2199	910	1	2.4	53	*857	5.8
	三重大学	工	321	962	845	415	3	2.0	72	343	17.3
	京都大学	工	955	3212	2548	961	-	3.3	3	958	0.3
	大阪大学	工	820	2939	2278	889	-	2.6	18	871	2.0
	神戸大学	工	440	2058	1621	467	-	3.5	15	452	3.2
	和歌山大学	システム工	250	869	598	331	-	1.8	50	281	15.1
	鳥取大学(*合格者に含む)	工	377	2551	1518	516	*	2.9	101	415	19.6
	島根大学	総合理工	85	564	351	124	6	2.8	40	84	32.3
	広島大学	工	455	1148	958	521	-	1.8	23	498	4.4
	山口大学	工(昼)	452	2130	1355	624	-	2.2	96	528	15.4
	徳島大学	工(昼)	414	2228	1280	491	-	2.6	75	416	15.3
	香川大学	工	234	861	560	271	-	2.1	33	238	12.2
	愛媛大学	工	441	1346	914	520	14	1.8	67	453	12.9
	九州工業大学	工, 情報工	725	2251	1454	803	-	1.8	93	710	11.6
	佐賀大学	理工	247	718	582	307	-	1.9	45	262	14.7
	長崎大学	工	329	709	482	370	-	1.3	26	344	7.0
	熊本大学	工	407	956	666	466	-	1.4	33	433	7.1
	大分大学	工	290	1606	1101	365	-	3.0	46	319	12.6
	宮崎大学	工	276	1230	598	351	8	1.7	60	291	17.1
	鹿児島大学	工	379	1071	737	458	-	1.6	41	417	9.0
	琉球大学	工	244	903	611	320	-	1.9	58	262	18.1

(注①) 入学者は総入学者数から推薦の当初入学者数を引いた人数。

(注) 工学系統学部のトータル(二部・夜間主コースは除く)。追加合格者もしくは入学辞退者が1名以上以上の学部・学科のデータ。入学辞退者数は入学者数から最終合格者数を引いたもの。

2005年度	大 学	学部	募集人員	志願者	受験者	最終合格者	追加合格(内数)	倍率(倍)	入学辞退者	入学者	辞退率(%)
		北海道大学	工	503	1677	1405	553	-	2.5	14	539
	室蘭工業大学	工	521	1554	1541	673	-	2.3	111	562	16.5
	北見工業大学	工	350	1973	1256	584	-	2.2	225	359	38.5
	弘前大学	理工	101	219	184	115	2	1.6	9	106	7.8
	岩手大学	工	302	931	596	360	-	1.7	39	321	10.8
	東北大学	工	562	2294	1711	632	-	2.7	38	594	6.0
	山形大学	工A	493	2010	1493	654	-	2.3	142	512	21.7
	茨城大学	工A	416	1910	1245	549	-	2.3	97	452	17.7
	筑波大学	第三学群	358	1443	1099	447	-	2.5	29	418	6.5
	宇都宮大学(後期)	工	15	96	46	36	6	1.3	-	-	-
	群馬大学	工(昼)	391	1325	935	496	1	1.9	72	424	14.5
	埼玉大学	工	424	1954	1287	488	11	2.6	59	429	12.1
	千葉大学	工A	618	2870	2383	690	1	3.5	55	635	8.0
	東京農工大学	工	441	2421	1849	557	-	3.3	72	485	12.9
	東京工業大学	工	693	3697	3038	745	-	4.1	12	733	1.6
	電気通信大学	電気通信	585	2717	1982	680	-	2.9	74	606	10.9
	横浜国立大学	工一部	571	3125	2072	716	-	2.9	81	635	11.3
	新潟大学(二次募集含む)	工	364	852	674	398	-	1.7	32	366	8.0
	長岡技術科学大学	工	41	214	162	73	-	2.2	5	68	6.8
	富山大学	工	321	942	913	459	14	2.0	93	366	20.3
	金沢大学(*一部帰国子女含む)	工	*384	1186	944	434	-	2.2	24	410	5.5
	福井大学	工	398	2006	1055	495	-	2.1	73	422	14.7

●特別リサーチ

大 学	学 部	募集 人員	志願者	受験者	最終 合格者	追加合格 (内数)	倍率 (倍)	入 学	入学者	辞退率 (%)	
								辞退者			
【2005年度】	山梨大学	301	1455	1017	385	-	2.6	55	330	14.3	
	信州大学	470	1380	1050	539	-	1.9	44	495	8.2	
	岐阜大学	430	1524	1429	533	-	2.7	72	461	13.5	
	静岡大学	445	1441	882	526	-	1.7	47	479	8.9	
	名古屋大学	666	2264	1688	735	-	2.3	41	694	5.6	
	名古屋工業大学(推薦など含む)	905	3467	2609	1004	2	2.6	75	929	7.5	
	三重大学	356	1279	1058	444	4	2.4	76	368	17.1	
	京都大学	955	3089	2510	960	-	2.6	2	958	0.2	
	京都工芸繊維大学	298	1409	929	383	6	2.4	74	309	19.3	
	大阪大学	820	3091	2474	883	-	2.8	12	871	1.4	
	神戸大学	460	2202	1594	498	3	3.2	25	473	5.0	
	和歌山大学	システム工	250	1063	722	309	-	2.3	40	269	12.9
	鳥取大学(*合格者に含む)	工	407	2750	1776	547	*	3.2	116	431	21.2
	島根大学	総合理工	90	347	263	116	6	2.3	31	85	26.7
	広島大学	工	329	835	691	387	-	1.8	21	366	5.4
	山口大学	工(昼)	440	1404	1343	706	1	1.9	240	466	34.0
	徳島大学	工(昼)	414	1680	911	504	-	1.8	89	415	17.7
	香川大学	工	219	712	515	254	-	2.0	33	221	13.0
	愛媛大学	工	456	1696	1064	539	5	2.0	56	483	10.4
	九州大学(*推薦含む)	工	*798	2342	-	868	-	2.7	37	831	4.3
	九州工業大学	工、情報工	771	2349	1530	870	2	1.8	94	776	10.8
	佐賀大学	理工	385	1672	1441	492	-	2.9	88	404	17.9
	長崎大学	工	259	695	490	292	-	1.7	35	257	12.0
	熊本大学	工	437	1074	765	498	-	1.5	20	478	4.0
	大分大学	工	290	1121	689	371	-	1.9	54	317	14.6
	宮崎大学	工	251	1258	690	314	7	2.2	48	266	15.3
	鹿児島大学	工	319	1393	959	394	-	2.4	44	350	11.2

(注) 工学系統学部のトータル(二部・夜間主コースは除く)。入学辞退者は入学手続き完了後の辞退者との合計。

【2004年度】	北海道大学	工	630	2236	1838	699	-	2.6	24	675	3.4
	室蘭工業大学	工	521	1887	1852	682	4	2.7	137	545	20.1
	北見工業大学	工	350	1966	1226	533	-	2.3	161	372	30.2
	岩手大学	工	330	1050	736	392	-	1.9	35	357	8.9
	東北大学	工	635	2769	2135	695	-	3.1	40	655	5.8
	秋田大学	工	333	1570	955	372	-	2.6	49	323	13.2
	茨城大学(特別選抜含む)	工A	465	2272	-	622	-	3.7	94	528	15.1
	筑波大学	第三学群	346	1141	916	414	-	2.2	32	382	7.7
	宇都宮大学	工	318	1038	835	406	-	2.1	65	341	16.0
	群馬大学(注①参照)	工(昼)	378	1456	980	465	7	2.1	71	394	15.3
	埼玉大学	工	410	1872	1170	453	16	2.6	42	411	9.3
	千葉大学	工A	602	3070	2507	667	-	3.8	56	611	8.4
	東京農工大学	工	450	2964	2297	555	-	4.1	66	489	11.9
	東京工業大学	工	693	3996	3390	748	-	4.5	21	727	2.8
	電気通信大学	電気通信	621	3193	2388	716	-	3.3	62	654	8.7
	横浜国立大学	工一部	558	3257	2143	671	-	3.2	96	575	14.3
	新潟大学	工	337	1067	823	392	-	2.1	30	362	7.7
	長岡技術科学大学	工	31	96	92	53	-	1.7	5	48	9.4
	富山大学	工	321	1229	1100	425	9	2.6	89	336	20.9
	福井大学	工	395	1655	1020	484	-	2.1	55	429	11.4
	信州大学	工	470	1638	1361	531	-	2.6	40	491	7.5
	岐阜大学	工(昼)	425	1509	1432	538	-	2.7	70	468	13.0
	静岡大学	工(昼)	445	1613	1034	538	-	1.9	53	485	9.9
	名古屋大学(推薦など含む)	工	740	2658	2050	798	-	2.6	44	754	5.5
	名古屋工業大学(推薦など含む)	工	910	3400	2550	1006	8	2.5	81	925	8.1
	豊橋技術科学大学	工	40	168	132	65	-	2.0	6	59	9.2
	三重大学	工	331	1361	1155	416	-	2.8	55	361	13.2
	京都大学	工	655	2249	-	661	-	3.4	6	655	0.9
	神戸大学	工	460	2102	1674	494	4	3.4	21	473	4.3
	鳥取大学	工	407	2629	1780	535	-	3.3	110	425	20.6
	島根大学	総合理工	90	815	524	110	3	4.8	23	87	20.9
	岡山大学	工	315	1059	743	379	4	2.0	41	338	10.8
	広島大学	工	345	766	576	377	-	1.5	23	354	6.1
	山口大学	工(昼)	437	1261	1228	618	-	2.0	157	461	25.4
	香川大学	工	234	749	584	282	-	2.1	36	246	12.8
	愛媛大学	工	464	1343	992	537	26	1.8	59	478	11.0
	九州大学	工	774	2164	1749	842	-	2.1	24	818	2.9
	熊本大学	工	435	1365	998	504	-	2.0	34	470	6.7
	大分大学	工	290	1475	955	376	23	2.5	67	309	17.8
	宮崎大学	工	221	2499	1177	278	14	4.2	41	237	14.7
	鹿児島大学	工	390	1299	923	485	-	1.9	52	433	10.7
	琉球大学	工	276	1334	1290	370	-	3.5	73	297	19.7

(注①) 追加合格者と手続後辞退者は推薦などを含む

(注) 工学系統学部のトータル(二部・夜間主コースは除く)。入学辞退者は入学手続き完了後の辞退者との合計。